

2022年度 第3回理事会 議事録

日時：2022年7月22日(金)17:00～18:50

場所：中央大学とオンラインのハイブリッド開催

出席理事(対面)：山上、田村、山田、鳥海、所、鶴飼(遅刻)、牧野、野々部(遅刻)

出席理事(オンライン)：猿渡、山下、堀(遅刻)、辻野、塩野、奥田、木庭、田中(遅刻)

欠席者：後藤

出席監事：松林、三嶋(遅刻)

庶務幹事：宮川(書記)

事務局：長谷

【審議事項】

A-1. 前回議事録の確認(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より前回議事録の確認があり、承認された。

A-2. 入会・退会承認の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より入退会の状況についての説明があり、承認された。

A-3. シニア会員承認の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事よりシニア会員承認についての説明があり、承認された。

A-4. Q1 収支報告の件(後藤会計理事)

後藤会計理事に代わって鳥海庶務理事より説明があり、承認された。「受取会費」「学生会員受取費収入」の増加、OR セミナーの「事業収益」「受取参加料」の増加、および機関誌の「事業費」「印刷製本費」の減少についての説明があった。また、会費の支払い方法を多様化したことが収益増加につながっている可能性があるとの説明があった。機関誌の「委託費」が増加している理由について質問があり、鳥海庶務理事より回答がなされた。また、野々部編集理事から前年度に締結した契約に関する補足説明があった。

A-5. 2022 年学生論文賞の件(田村表彰委員長)

田村表彰委員長より、5件の学生論文賞の受賞候補者の推薦があり、全て承認された。なお、理事会資料の一部に誤植があり、「第 39 回学生論文賞」となっている箇所は「第 40 回学生論文賞」の間違いであるとの説明があった。さらに、秋季研究発表会で表彰式が行われる研究賞と研究賞奨励賞のメダルについて刻印される文字の確認と、費用の見積もりが示された。

A-6. 2022 年度第 1 回 OR セミナー実施報告(堀普及理事)

堀普及理事より説明があり、承認された。申込者は 162 名と盛況であった。アンケート結果を見ると、Twitter などの SNS での情報発信が重要であること、また、今後も「オンライン」または「ハイブリッド」開催が望ましいとの説明があった。

A-7. 2022 年度第 2 回 OR セミナーの企画状況(堀普及理事)

堀普及理事より第 2 回 OR セミナーはオンラインでの開催を予定していること、また、紙テキストは用意しないとの説明があり、承認された。

A-8. 2023 年支部事業費の件(山下研究理事)

山下研究理事より支部事業費は 2022 年度と同様に 2023 年度も 40 万円とすることと、各支部の優先順位について説明があり、承認された。支部の申請額が 10 万円より少ない場合について質問があり、山下研究理事よりそのようなことは想定していないとの回答がなされた。

A-9. IFORS からのロシア OR 学会の除名への対応(鵜飼国際理事)

鵜飼国際理事より説明があり、情報収集後に会長と事務局で理事会原案を作成し、10 月の理事会で決議することが承認された。猿渡副会長より学会の規程で決まっているものがあるかとの質問があり、そのようなものはないとの回答があった。赤十字など他団体の対応についても情報収集を行う必要性が指摘された。複数の理事から除名には反対との意見が出された。また、理事会で決定すべきとの意見があった。鳥海庶務理事より、代議員による投票での決議と臨時総会による決議はほぼ同じであることが指摘された。

【報告事項】

B-1. 第 1 回広報委員会議論の件(塩野広報理事)

塩野広報理事より報告がなされた。最新トレンドとの関連付け、英語版、OR 事典再編纂、情報が集められるプラットフォーム、フォーラムの設置について説明があった。人的資源・予算制約、役割分担の整理、継続的な運用方法の確立が課題であるとの説明があった。

B-2. OR セミナー実施手順の改訂について(堀普及理事)

堀普及理事より Web 決済手数料明確化、ハイブリッド対応化、Web サイト維持業務の担当変更などの修正について説明があった。

B-3. 学会在り方意見交換会の報告の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より他学会とのコラボレーション、財政健全化、イノベーティブな組織への変化など議論の概要について報告がなされた。山上会長より INFORMS の取り組みが紹介された。塩野広報理事にもメンバーに入ってもらおうとの提案があった。鳥海庶務理事より会員からの意見を収集する目安箱を学会 Web サイトに設置したことで、賛助会員からの意見を求めやすくなったとの説明があった。また、OR セミナーの活用について意見交換がなされた。

B-4. 次回理事会の件(鳥海庶務理事)

鳥海庶務理事より次回理事会の日程と議案提出スケジュールについて報告があった。

その他、審議・報告事項ではないが、秋季研究発表会の準備状況について田中大会理事から、現時点では、秋季研究発表会はハイブリッドで開催する予定であるとの報告がなされた。現地参加者が少ないと県や市からの助成金が減り、赤字になる可能性があること、開催方法は8月末までに確定したいとの説明があった。

上記議決を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

2022年度第3回理事会

議事録署名人

議長（会長） 代表理事 山 上 伸

（副会長） 代表理事 田 村 明 久

（副会長） 代表理事 山 田 昭 雄

（副会長） 代表理事 猿 渡 康 文

監 事 松 林 伸 生

監 事 三 嶋 英 俊